コモンズ３０ファンド　コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式

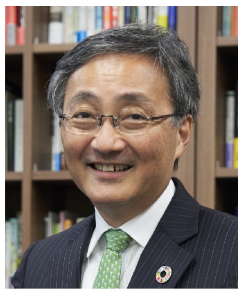
渋澤と伊井の想い

【全国民・全世代への資産形成にむけて】

2022年が、もう半分も経ってしまいました。6月中に猛烈な暑さで梅雨明けしましたが、今年の夏は屋外ではマスクを適切に外して熱中症も予防しましょう。
さて、コモンズ投信のメンバーが総出で受益者の「お仲間」と対話するイベントはコロナ禍で2年半以上も見送られていましたが、6月26日に久しぶりに皆さんと顔合わせすることができました。
（当日の様子はこちらです：https://youtu.be/veQXoqpMJao）
当日のパネルの対話の掛け合いでご紹介したエピソードですが、実はコモンズ投信は国の政策に影響を与えていたかもしれません。それも会社のエレベーターで交わした会話で！笑

去年の9月の自民党総裁選で「令和版所得倍増」を掲げて岸田文雄総理は当選されました。
会長を務められている派閥の宏池会を結成した池田勇人元総理が1960年に掲げた「所得倍増計画」を意識されたと推測します。
10月に岸田内閣が発足し、設置された「新しい資本主義実現会議」の有識者メンバーに私は任命されましたが、あるときコモンズオフィスのエレベーターで一緒になった社長の伊井が「私は資産倍増だと思うんですけどね」と声がけしてくれました。
確かに、それはそうだと思い、実現会議の分科会や事務局との事前打ち合わせで、日本の家計の半分以上になる約1000兆円が現預金に留まっていることを問題視して「資産倍増プラン」を促しました。
その後、本会議のアジェンダに「資産所得倍増プラン」というキーワードが登場し、「新しい資本主義実行計画」では「NISA制度の拡充」が明記されることになりました。
本会議では、資産所得倍増を達成するためには全国民が世代を超えて参加する制度の重要性を主張しました。つまり、極めてシンプルな制度設計をすることです。

そういう意味で私が推したのは「つみたてNISA」の恒久化および未成年者への解禁です。
ジュニアNISAは極めて重要な制度なので期待していましたが、制度設計が複雑すぎて、結果、廃止が決定されました。一般NISAもロールオーバー、2024年からの新制度では二階層など複雑化しています。
「NISA制度の拡充」という言葉で、一般NISAの拡充を報道等は連想しているようですが、私は「既に株をやっている」層に税優遇を拡充する必要はないと思っています。優先すべきは、あくまでも、今まで投資経験ない全国民・全世代に資産形成を自ら意識して一歩踏み始めるための「つみたてNISA」の制度拡充です。



取締役会長 渋澤 健

コモンズ30ファンド

モーニングスターFUND OF THE YEAR2021
（ファンドオブザイヤー2021）

国内株式型 部門　優秀ファンド賞受賞！

コモンズ30ファンド

格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2022」

投資信託10年／国内株式コア カテゴリー　優秀ファンド賞受賞！

基準価額の推移
2009年1月19日 ～ 2022年6月30日

※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。

運用実績
2009年1月19日 ～ 2022年6月30日

基準価額
35,321 円
（前月末比）
△1,721 円（△4.6%）

純資産総額
331.7 億円
（前月末比）
△9.6億円（△2.8%）

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△4.6%
3ヵ月	△7.6%
6ヵ月	△10.7%
1年	△7.5%
3年	36.2%
5年	38.1%
10年	215.4%
設定来	285.6%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2018年1月	250円
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。
※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	93.6%
その他	6.4%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	15.5%
精密テクノロジー	14.5%
ウェルネス	12.2%
新素材	10.5%
快適空間	9.9%
資源・エネルギー	9.3%
未来移動体	6.5%
地球開発	6.2%
ライフサイクル	6.0%
社会インフラ	3.0%
その他	6.4%

組入上位10銘柄

	銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.2%
2	KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	4.0%
3	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	4.0%
4	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.8%
5	ＳＭＣ	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.7%
6	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.7%
7	丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバースリーに	3.6%
8	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.6%
9	ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.6%
10	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける	3.6%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。
※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
※その他とは現金等を指します。
◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

運用状況

◎運用レビュー
6月のファンドの月間リターンは▲4.6％の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ

6月の内外株式市場は、欧米で物価上昇傾向が弱まらず、各国で利上げが相次いだことから株式市場も欧米を中心に大きく下落しました。米国10年国債利回りも3.5％に迫る場面があり、成長期待の高い銘柄の株価調整につながりました。国内株式市場も世界的な株価の下落の影響を受けましたが、外国為替市場で約24年ぶりとなる137円台までドル高円安が進んだことなどから相対的には下落幅が限定的となりました。

当ファンドは、月間で▲4.6％の下落、投資先30銘柄中9銘柄が値上がり、21銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲2.1％の下落、日経平均株価も▲3.3％の下落となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、93.6％と前月比▲1.0％の低下となりました。株式市場の値動きが大きくなることを想定し、現金比率を高めながらの運用を続けています。個別銘柄の月間騰落率ではエーザイ+8.1％、ベネッセHD+6.7％、味の素+5.3％が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、東京エレクトロン▲24.9％、信越化学▲16.6％、楽天G▲15.5％となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は三菱商事1社でした。年初来高値を更新した銘柄は、日揮HD、コマツ、堀場製作所、日東電工、三菱商事の5社（銘柄コード順）ありました。

株式市場は、物価高を抑制する各国中央銀行の金融政策により、景気減速の深さやスタグフレーション（景気後退とインフレが同時進行する現象）懸念を考慮し始めています。この夏から、秋にかけてはその見極め期間となることでしょう。当面は、株式市場の値動きの大きさを考慮し、一定の現金比率を維持しながら丁寧な運用を続けて参ります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2022年6月次運用報告動画もぜひご覧ください！

https://youtu.be/qAPF8RglN2s

2022年6月次運用報告動画

投資委員会メンバー
○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

新規組入投資先

なし

今月のピック！

■（6869）シスメックス

シスメックスは、5月12日に2022年3月期決算を発表しました。売上高、営業利益ともに2ケタ成長を達成し過去最高の業績を更新しました。グローバルでの新型コロナウイルス感染拡大が落ち着きを見せたことから、検査需要が回復し検査試薬の売上が順調に伸びたことなどが業績拡大に貢献しました。
地域別では、機器売り上げが低調であった中国を除く全地域で2ケタ成長となりました。
国内では川崎重工との合弁会社が手がける手術支援ロボット“hinotori”の販売が本格化し、累計導入台数は18台になりました。泌尿器科領域での適応からスタートしましたが、昨年10月には婦人科、消化器科への適応拡大を申請しています。今期（2023年3月期）は45台の導入を計画し、海外展開も準備中です。
エーザイと共同で開発を進めているアルツハイマー型認知症の血液による診断にかかる、脳内アミロイドβ検査試薬の製造販売承認申請が昨年12月に完了し、2022年中にも申請が承認される見込みです。

シニア・アナリスト　末山 仁

■（1963）日揮HD

日揮HDの受注が順調に推移しています。
5月にサウジアラビアの原油・ガス分離設備建設プロジェクトを受注しましたが、今期は、アメリカや東南アジア、中東での大型の石油化学プラントやLNG関連プロジェクトなどの受注が相次ぐ見通しです。2023年3月期の受注高は5000億円、前期比58％増と急回復の見込みです。
日揮HDは、主に化石燃料ベースの生産プラントをつくっている会社のため、温室効果ガス削減の流れのなか、中長期で企業価値を高められるか不安視されていた面がありました。しかし、その懸念は払拭されつつあります。地政学リスクの高まりやエネルギー価格高騰、再生可能エネルギーへのニーズ、など顧客ニーズは様々です。
会社側は、中長期的なエネルギー需要の変化への対応だけでなく、目の前の顧客ニーズにも対応しながら、プラントエンジニアリング企業としての価値を高めていく考えです。

シニア・アナリスト　上野 武昭

■（4063）信越化学工業

信越化学工業の株価が月間で16.6％の大幅下落となりました。
半導体関連株の株価調整が影響したものと思われますが、半導体シリコンウエハ事業についてはかねてより需給が極めてタイトな状態が続いており、また太宗の顧客とは長期契約を締結しているので、よほど大きな需要減退が無い限りは当社業績への影響は限定的になるものと考えています。
また、米国における金利上昇を受けた住宅需要の減退により、塩ビ事業への影響も懸念されていると思われますが、直近での米国の住宅供給は歴史的に見てもそこまで高い水準ではなく、むしろ資材高や人手不足による価格高騰などから十分な供給がなされておらず、そこまで大きな調整が起こるとは考えにくい状況です。加えて、米国内ではインフラ用途の需要も期待できること、グローバルな塩ビの供給体制を考えたときに安定生産できる同社の強みがより活きる環境であると考えること、などから、こちらについても大きな懸念はしておりません。

シニア・アナリスト/ESGリーダー　原嶋　亮介

2つの対話

「企業との対話～堀場製作所 足立社長をお迎えして～」
6月16日、コモンズ30ファンド投資先企業堀場製作所 足立社長をお招きした対話イベントが実現しました！

『「おもしろおかしく」は、やる気になったらとことんやれ、という創業者のメッセージ。
世のため人のため地球のためになるものを測り続ければ社会に必要とされ続ける。
そのためにも、「ほんもの」ではなく、「ほんまもん」を追求し続けたい。』

同イベントで、足立社長からは堀場製作所の競争力や経営力の本質に迫り、それが持続的な成長につながっていくストーリーを存分にお伺いすることができました。
「ほんまもん」の追求とは、まさに「おもしろおかしく」の精神でチャレンジし続けること。
本イベントでの対話を通して、堀場製作所の見えない価値（＝非財務的価値）に触れる貴重な機会となりました。

企業との対話～堀場製作所 足立社長をお迎えして～

アーカイブ動画もぜひご覧ください！
https://youtu.be/WmaQd2Kn9d4

「コモンズとの対話～長期・厳選・対話による価値の共創～」
6月26日、コモンズとお仲間との対話イベント「コモンズとの対話」を開催しました。
社員総出で、かつ会場にたくさんのお仲間をお招きしての開催は実に2年半ぶりでした。

今回のコンセプトは「長期・厳選・対話による価値の創造」です。
投資先企業や社会起業家のゲストを呼ばず、コモンズのみで構成し、改めて、私たちの運用の特長にフォーカスした内容にしました。

コモンズとの対話～長期・厳選・対話による価値の共創～

イベントでコモンズ投信の新しい姿が見えてきたように思います。

一つ目は、「コモンズは、未来」である、ということ。
会の冒頭で渋澤が挨拶の中でコモンズは未来だと表現しました。
その真意とは？
二つ目は、「コモンズは、コミュニティ」である、ということ。
長年のお客さまがご自身のブログのなかで「コモンズの投資信託は、金融商品の枠を超え、人々が集い、価値を共創するコミュニティやプラットフォームとしての機能を果たせるもの」と表現して下さっていました。
三つ目は、「コモンズは、長期・厳選・対話の投信」である、ということ。
鼎談の中で、アナリストの原嶋が長期投資だからこそ、われわれ投資家は、企業にとって最も厳しい相手でないといけない、とお話しさせていただいた点は、ご参加の多くのお仲間に響いたようです。

詳細はぜひこちらのコンテンツとアーカイブ動画よりご覧ください！
コモンズ考「コモンズは、○○○」：https://www.commons30.jp/contents/investment/3038/
アーカイブ動画：https://youtu.be/veQXoqpMJao

取締役 マーケティング部/部長　福本　美帆

コモンズSEEDCapからのお知らせ

【コモンズSEEDCap第13回応援先をNPO法人PCV住岡健太さんに決定】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら
→ http://www.commons30.jp/fund30/seed

創業来続けている寄付プログラムコモンズSEEDCap（社会起業家応援プログラム）の第13回応援先を、NPO法人 Peace Culture Village (以下、NPO法人PCV)住岡健太さんに決定し、当社が受け取る信託報酬の1％相当額から副賞を引いた185万円を寄付することと致しました。

住岡さんへの授賞式を10月1日に開催予定の社会起業家フォーラムにて行います。

NPO法人 PCVでのお知らせはこちら
→https://peaceculturevillage.org/archives/17263
詳しくはリリースをご覧ください
→https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000095994.html

ブログでも委員のみなさまのご紹介、お仲間より寄せられた声をご紹介しています。
○第13回応援先をNPO法人PCV住岡健太さんに決定
→https://park.commons30.jp/2022/06/13npopcv.html
○第13回コモンズSEEDCap選考に寄せられた声
→https://park.commons30.jp/2022/06/13seedca.html

他2名の最終候補者、木下寿子さん（一般社団法人住宅遺産トラスト）、守谷玲太さん（株式会社ARTMORIYA）には副賞としてそれぞれ5万円を寄付させていただくこととしました。

わたしたちコモンズ投信はこの1年が、第13回コモンズSEEDCap応援先最終候補者のみなさんと共に、未来につなげたい大切なものの継承に深く向き合い、共に模索し、次なるアクションを見つけていく機会となることを確信しています。

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー　馬越　裕子

お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

企業との対話 ～堀場製作所 足立社長をお迎えして～

ものづくりのビジネスは、素晴らしいものを作っていれば良い訳ではなく、それはいかに使う人のニーズに合わせられるのか？役に立ち喜んでもらえる存在にできるか？が大事だというお話は、他の業界でも同じように当てはまる話だと思いながらお聴きしました。
また、それを実現できる組織は、ある意味それが許される文化があってこそとも思うのですが、それが各プロジェクト（ブラックジャック・ステンドグラスなど）のような、人への取り組みからも創られているのではとも感じ、組織運営という視点からも学びになりました。
足立社長が「技術の美しさ」と表現されていたことも、とても印象的でした。（50代・女性）

コモンズの視点～企業のミカタ～　本田技研工業（ホンダ）のご紹介

ファンド選びでコモンズにした理由の一つが、ホンダに投資していることでした。漠然とホンダが好きだったからです。だからコモンズがホンダをどう見ているかわかってよかったです。それからジェット機や耕運機やEV化や、これまでとこれからの経営の話で、知らなかったホンダを知ることができてよかったです。
また、話題が広くコンパクトだったことと、講師の企業への気持ちが込められていて面白かったです。退屈さを感じませんでした。自動車や二輪車以外のことは知らなかったので、もっと話を聞きたいと思いました。（30代・男性）

コモンズとの対話 ～長期・厳選・対話による価値の共創～

伊井さんの話が特にわかりやすく、初心者にも大事なことが伝わりやすいと感じました。
また、アナリストの方の個人としての発言も親近感が持てて、ファンドへの安心につながります。（40代・男性）

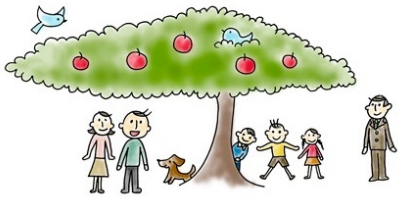
東レを外した理由、資生堂の株を10000株とした時のエピソードなど、コモンズの運用哲学を更に知ることができたため。
また、原嶋さんの必ずする質問が心に刺さりました。（40代・女性）

お知らせ

Pick Up！セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧下さい。

https://www.commons30.jp/seminar/



◆2022年6月次運用報告動画もぜひご覧ください！

https://youtu.be/qAPF8RglN2s

□こどもトラストセミナーwithユニ・チャーム
紙おむつはもう”ごみ”じゃない
～”吸うチカラ”と”リサイクル”を学びSDGｓを実践しよう！～

7月31日（日）10:00～11:30

□【こども金融セミナー】おかねの4つの使い方

7月27日（水）19:00～19:40

□はじめてのコモンズ

「資産づくり編」あなたに合った投資信託は？

7月9日（土）9:00～9:30

「ファンド編」　長期・厳選・対話の魅力

7月15日（金）20:00～20:30

□教育資金づくりとこどもトラスト

7月22日（金）10:00～10:30

□コモンズ投信運用報告会　～2022年4-6月期～

7月26日（火）20:00～21:15

□コモンズの視点　～企業のミカタ～
エーザイのご紹介

7月28日（木）20:00～20:30

☆アーカイブ動画をYouTube「COMMONSTV」にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

※Morningstar Award“Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar,Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド897本の中から選考されました。
※「Ｒ＆Ｉファンド大賞」は、Ｒ＆Ｉが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきＲ＆Ｉが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第２９９条第１項第２８号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はＲ＆Ｉに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○		
静銀ﾃｨｰｴﾑ証券株式会社※2	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関	九州財務支局長（登金）第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務支局長（登金）第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○			○
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関	四国財務局長（登金）第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長（登金）第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金)第1号	○	○		
LINE証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第41号	○			
ＳＭＢＣ日興証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長（金商)第191号	○			
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1	登録金融機関	関東財務局長（登金） 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○		○	
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱

コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	（コモンズ投信の場合）ありません。 （委託会社の指定した販売会社の場合）販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年税込1.078%（税抜0.98 %）を上限とした率を乗じて得た額とします。 信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2009年1月19日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日

ご注意事項

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。

◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

関係法人

委託会社	コモンズ投信株式会社 〒102-0093　東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階
	・金融商品取引業者 ・関東財務局長（金商）第2061号 ・加入協会 一般社団法人投資信託協会
	お問い合わせ先 ■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時） 03-3221-8730 ■ウェブサイト https://www.commons30.jp/